高等学校教育専攻

地歴・公民専修

募集人員 9名

詳細はコチラ

「専門分野を学ぶことで強みを見つける」

専門分野の「学び」を自ら積極的に深めることで、生徒の多様な考えを引き出すプロフェッショナルを目指します。

【専門性に根ざした実践力を持った教員の育成を目指す】

人文社会系諸科学に基づいた専門的な知識を身に付けた教育実践力を持った教員の育成を目的とします。地歴科・公民科教員にとっての基礎を育成する「専攻基礎科目」を学んだ後、専門的資質や能力を高めるための「専攻科目」を中心に学ぶことで専門性を深めます。

調査発表（日本史特論II）

グループワークによる史料解釈（日本史書講読II）

近現代史料の読解に挑戦（日本史特論II）

4年間の学び

1年次は基本的なことを広く学び、2年次以降は、地理学・史学・哲学・法経社の4つのコースに分かれて、専門性を深めていきます。どのコースでも地歴科・公民科教育学を共通して学びます。3年次になると各コースの中で所属するゼミを決定し、より専門的な研究を進めるとともに、教育実習などを通じて教職に向けた実践も経験します。4年次には、教員採用試験などに取り組みつつ、卒業論文の完成を目指します。

史学コースでは、3年次に日本史書講読IIという演習が開講されます。重要文献や歴史史料の読解・解釈してきたものを発表してもらいます。実践的に日本史に親しんでもらいつつ、日本史に対する深い理解と高校生に対する指導力の涵養を狙いとしています。

取得できる免許

［卒業要件に含める免許状］
高等学校教諭一種免許状（地理歴史および公民）

［取得を優先して薦める免許状］
中学校教諭一種免許状（社会）
特別支援学校教諭二種免許状

先輩Voice

学校教員養成課程 高等学校教育専攻 地歴・公民専修4年
愛知県立豊田西高等学校出身

社会科の面白さを授業でどう伝えるか？ 友人たちと議論を重ねた日々が 成長につながっています。

4年間を通して社会科全般を幅広く学べると同時に、史学・法経社・地理・哲学コースでは興味に基づいて専門的な知識を深めることができます。3年次からは模擬授業の機会が増え、「どうすれば分かりやすく教えられるか？」「資料の効果的な使い方は？」など、友人たちと試行錯誤しながら授業づくりを実践。教育実習では、練習を重ねた模擬授業の経験が糧になりました。今後は、教育実習で見えてきた課題を解決できるよう授業に取り組み、自身が体感した社会科の面白さを伝えられる教員になることが目標です。

■ 2023年 2年次後期の時間割（例）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限			学校体験活動Ⅰ	中等社会科教育法CⅠ	道徳教育の理論と方法
2時限			学校体験活動Ⅰ		
3時限	哲学史概説Ⅱ	学校教育におけるICT活用	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	日本史概説Ⅱ	
4時限	キャリアデザインⅡ			倫理学基礎演習	社会学概論
5時限	キャリアデザインⅡ				

＊上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式（オンデマンド型）で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。